中学生・高校入試の基礎固め

古文の読み方

最低限の文法 × 重要単語 × 主語のつかみ方

読める手がかりを、
３回くり返して自分の力に。

この一冊で身につけること

誰の行動・発言かを追う。
「ば・の・が・む・ぬ」で読み違えない。
疑問・反語・打消しを、意味の通る現代語にする。

読む	解く	確かめる
ポイント解説	練習32問 × ３回	チェック20問 × ３回

STEP 1・2・3は同じ学習項目・同じ難度です。
難問に進むのではなく、基本を３回反復します。

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

英心うえの塾

教材用の創作例文・創作短文を中心に構成しています。
実在の古典作品の本文や入試問題を転載した問題集ではありません。

使い方・学習記録

分かる → 解く → 自力で確かめる

目標は「理由も言える正解」

答えを写して終わりにせず、「なぜその意味になるか」を一言で説明します。間違えたら解説に戻り、答えを隠して、もう一度解きましょう。

順番	内容	ページ
準備	ポイント01〜08と「その場で確認」	3〜10
STEP 1	練習32問 → チェック20問	11〜16
STEP 2	同じ項目の類題 → チェック20問	17〜22
STEP 3	同じ項目の類題 → チェック20問	23〜28

１回の進め方

① 解説を読み、例文を声に出して訳す。
② 練習は解説を見ながらでよい。分からなかった番号に印をつける。
③ 解答解説で確認し、誤答を直す。
④ チェックテストは解説・解答を閉じて行う。目安は各回20分。
⑤ 間違えた項目を復習してから、次のSTEPへ。

記録	練習した日	テスト得点	解き直した日
STEP 1	月 日	／100	月 日
STEP 2	月 日	／100	月 日
STEP 3	月 日	／100	月 日

印のつけ方

登場人物を丸で囲む。同じ人物には同じ印をつける。
「ば」の後・会話の前後で、主語を確かめる。
「え・つゆ」は、後ろの打消しと線で結ぶ。

テストは各問５点・100点満点。合格の目安は80点ですが、
最後は点数より「間違えた問題が自分で解けること」を目指します。

POINT 01

省略を補って、文の骨組みをつかむ

「誰が・何を・どうした」を、自分の言葉で言える。

古文は、文脈に頼って読む文章

古文では、主語や助詞が省略されることがあります。当時の人には分かる常識も、今の私たちには見えにくくなっています。書いていない部分を、前後の内容から補って読みましょう。
現代文でも省略はあります。「古文はすべて特定の人向け」と決めつける必要はありません。

助詞を補う

教材用例文：光源氏、笛吹きたり。
→ 光源氏が、笛を吹いている。
「が」は動作の主体、「を」は動作の対象を表します。※「たり」は、この文では「〜ている」。

主語を補う

翁、山に入りて、竹を取る。
→ 翁が山に入って、翁が竹を取る。
同じ人の動作が続くと、二度目の主語が省略されます。「近くにある名詞」だけで主語を決めず、誰の動作かを考えます。

読むときの手順

① 動作・発言を見つける。 ② 誰がしたかを確かめる。
③ 必要な「が・を・に」などを補う。 ④ 文全体の意味を確かめる。

その場で確認

01 「童、笛吹く。」に「が・を」を補いなさい。

02 「僧、立ちて、門を出づ。」で、門を出るのは誰ですか。

POINT 02

人物を丸で囲み、主語を追いかける

名前・呼び方・会話を手がかりに、同じ人物を見失わない。

丸をつけるのは「話に参加する存在」

人物が初めて出たら丸で囲み、Ａ・Ｂなどの印をつけます。「竹取の翁 → 翁 → この男」のような呼び方の変化にも注意。同じ人物なら同じ印を使います。
動物や物が話す物語では、それらも登場人物として扱います。ただの風景や道具まで、すべて人物扱いにする必要はありません。

「て・つつ」は、同じ主語が続くかを考える

童、笑ひて、走り出づ。→ 笑うのも走り出るのも童。
童、歌ひつつ、道を行く。→ 歌うのも歩くのも童。
ただし、必ず同じではありません。また、「、」だけでは主語が同じかどうかは決まりません。

「ば」の後と、会話の境目で立ち止まる

翁、童を呼べば、童、走り来。
→ 呼ぶのは翁。走って来るのは童。
「ば」の後では、主語が交代していないかを点検します。ただし、「翁、山に行けば、竹を取る」のように同じ場合もあります。

会話の「我」は、話している人

翁、童に「我は帰らん」と言ふ。
→「我」は翁。「誰に」言ったかと、「誰が」言ったかを区別します。会話の外に出たら、地の文の主語を確認し直しましょう。

その場で確認

01 「僧、童を呼べば、童、笑ふ。」の「呼ぶ」「笑ふ」の主語を順に書きなさい。

02 「狐、翁に『我は山に住む』と言ふ。」の「我」は誰ですか。

POINT 03

「ば」は、ならば・ので・すると

まず直前の形を見て、次に文脈で訳し分ける。

活用形は「言葉の形の変化」

未然形（みぜんけい）は、打消しの「ず」につながる形が目印です。例：降ら＋ず。
已然形（いぜんけい）は、古文の「ば・ど・ども」などにつながる形です。例：降れ＋ば。漢字は「已然形」。

形	基本の訳	例
未然形＋ば	もし〜ならば	雪降らば → もし雪が降るならば
已然形＋ば	〜ので（原因・理由）	雪降れば → 雪が降るので
已然形＋ば	〜すると・〜したところ	門を開けば → 門を開けると

３つの訳は、形と内容を合わせて選ぶ

「未然形＋ば」なら、まず仮定。「已然形＋ば」なら、「ので」か「すると・ところ」を考えます。形が分かるときまで、訳を当てずっぽうで選ばないこと。
「春になれば花咲く」のような、いつもの成り行きも「春になると花が咲く」と訳せます。

比べて覚える

風強ければ、舟を出さず。→ 風が強いので、舟を出さない。
戸を開けば、猫あり。→ 戸を開けると、猫がいる。
「ば」を見つけたら、主語の交代も忘れずに確認。

この先の解説で使う、活用形の名前

「書く」で比べると、未然形＝書か、連用形＝書き、終止形＝書く、連体形＝書く、已然形＝書け、命令形＝書け。
連用形は「て」などにつながる形、終止形は言い切る形、連体形は名詞につながる形です。例：書きて／書く。／書く人。

その場で確認

01 「雨降らば」の意味を書きなさい。

02 「戸を開けば、犬あり。」の「開けば」を訳しなさい。

POINT 04

「の・が」は、主語か、名詞の説明か

「〜が」と訳す場合と、「〜の」と訳す場合を区別する。

まず覚えるのは２つの働き

主格＝「誰が・何が」に当たる働き。
連体修飾＝名詞を説明する働き。体言は名詞のことです。
「の・が」にはほかの用法もありますが、この教材ではこの２つを練習します。

例	働き	現代語で言うと
都の雪	連体修飾	都の雪
鳥の鳴く声	主格	鳥が鳴く声
我が家	連体修飾	私の家
君が行く道	主格	あなたが行く道

後ろの言葉との関係を見る

「都の」は名詞「雪」の説明です。一方、「鳥の鳴く声」では、鳴くのは鳥。「鳥が鳴く」と考えます。
後ろが名詞かどうかを眺めるだけでなく、「何が、どうする」という関係を探しましょう。

身近な言葉から

「苔のむすまで」の「の」は主格で、「苔が生えるまで」。
「我が母校」の「が」は連体修飾で、「私の母校」。
現代語にも古い用法が残っています。

その場で確認

01 「月の光」の「の」は、主格・連体修飾のどちらですか。

02 「雪の降る朝」の「の」を、意味が分かるように言い換えなさい。

POINT 05

「む・ん」「ぬ」を打消しと決めない

現代語の感覚で読まず、形と意味をセットにする。

「む」は、この教材では意志・推量

意志「〜しよう」：我は行かむ（行かん）。→ 私は行こう。
推量「〜だろう」：明日は雪降らむ（降らん）。→ 明日は雪が降るだろう。
「む」が「ん」と表記されることがあります。一人称なら意志、第三者や自然現象なら推量をまず考えますが、文脈で確認します。「む」には、ほかにも用法があります。

形	意味	例
未然形＋ぬ	打消し「〜ない」	咲かぬ花 → 咲かない花
連用形＋ぬ	完了「〜た・〜てしまった」	花咲きぬ。→ 花が咲いた。

「ぬ」の正体を見分ける

打消しの「ぬ」は助動詞「ず」の連体形。完了の「ぬ」は別の助動詞の終止形です。
「咲か＋ぬ」と「咲き＋ぬ」のように、まず直前の形を比べます。「見ぬ」のように未然形と連用形が同じ語では、後ろの形や文脈も確認します。

「ぬ。」だけで完了と決めない

文末の「ぬ」は完了をまず考える手がかりですが、例外があります。
例：人ぞ知らぬ。→ 人は知らない。
「ぞ」に応じて文末が連体形になる係り結びのため、打消しの「ぬ」が文末に来ています。

その場で確認

01 「我は帰らん」を訳しなさい。

02 「散らぬ花」「花散りぬ。」の「ぬ」の意味を順に書きなさい。

POINT 06

疑問・反語・願望を読み分ける

本当に尋ねているのか、強く言い切っているのかを考える。

「や・か」は、疑問と反語の手がかり

疑問＝答えを知りたくて尋ねる。「〜か」。
反語＝疑問の形で、反対の内容を強く表す。「〜か、いや〜ない」。
「誰か来る。」も、場面によって意味が変わります。訪問者の名前を尋ねるなら疑問、誰も来ない場所だと言うなら反語です。

「やは・かは」は反語をまず疑う

「や・か」に「は」がついた形は、反語になることが多い表現です。
例：恩を受けた人について「その恩をやは忘るる。」
→ その恩を忘れようか、いや忘れない。
ただし、疑問の用法もあるので、形だけで断定しません。読みは「やわ・かわ」。

言葉	読み方の基本
いかに	どのように・どうして（疑問／文脈によって反語など）
いかが	どのように・どうして（疑問／反語）
いかで	どうして・どうやって（疑問／反語）、どうにかして（願望など）

「いかで」は３通りを比べる

方法を尋ねる：いかで川を渡らむ。→ どうやって川を渡ろうか。
渡る手段がないと強調：いかで川を渡らむ。
→ どうして川を渡れようか、いや渡れない。
強く会いたい：いかで友を見ばや。→ どうにかして友に会いたい。
※「ばや」は「〜したい」。

反語の着地点を確認

いかで月を見ではあらん。→ どうして月を見ないでいられようか、いやいられない。つまり、月を見ずにはいられない。
「見で」は「見ないで」。打消しを含む反語では、最後に何を肯定しているかも確認します。

その場で確認

01 「やは・かは」があれば、必ず反語ですか。

02 会いたい気持ちで言う「いかで友を見ばや」を訳しなさい。

POINT 07

打消しは「組み合わせ」で覚える

「できない」「全くない」「ないで」を訳し分ける。

まず「ず・ぬ・で」

「ず」は「〜ない」。打消しの「ぬ」も「〜ない」。
「で」は、動詞などの未然形について「〜ないで・〜なくて」。
知らで帰る。→ 知らないで帰る。
「ずて」も「〜ないで」という意味です。「で」は、意味の上では「ずて」と結びつけて覚えましょう。

組み合わせ	意味	例
え＋打消し	〜できない	え読まず → 読むことができない
つゆ＋打消し	全く〜ない・少しも〜ない	つゆ知らず → 全く知らない
え＋〜で	〜できないで	え言はで → 言えないで
つゆ＋〜で	全く〜ないで	つゆ知らで → 全く知らないで
え＋〜まじ	〜できそうにない	え渡るまじ → 渡れそうにない

「え」と「つゆ」は、後ろまで探す

「え」だけ、「つゆ」だけで訳を決めず、後ろの打消しと組み合わせます。
「えも言はず」は、言葉で言い表せないほど、という意味になることもあります。

「まじ」は、いつも同じ意味ではない

「まじ」には「〜ないだろう」という打消推量のほか、不可能・打消意志などの用法があります。ここでは「え〜まじ」＝「〜できそうにない」を中心に覚えます。
「できない」と「全くない」の違いまで、丁寧に訳しましょう。

その場で確認

01 「つゆ知らで」を訳しなさい。

02 「え渡るまじ」を訳しなさい。

POINT 08

重要単語を、短い文の中で覚える

現代語と見た目が似ていても、意味を確かめる。

今回使う12語

まずは、この教材で使う意味を定着させましょう。単語には複数の意味があるため、実際の文章では前後の内容や注も確認します。

古語	今回覚える意味	読み方・注意
いと	とても・たいそう	程度を強める
をかし	趣がある・おもしろい	「おかしい」に固定しない
あやし	不思議だ・変だ	身分が低い・粗末だ、の意味もある
ありがたし	めったにない・珍しい	感謝の意味に固定しない
さうざうし	物寂しい・心が満たされない	読みは「そうぞうし」
おとなふ	訪れる・音を立てる	今回は「訪れる」。読みは「おとなう」
よもすがら	一晩中	「夜」の間ずっと
物語す	話をする	物語を作る、とは限らない
あきらむ	明らかにする	今回は「事情を明らかにする」
年ごろ	長年・数年来	年齢、に固定しない
いざ	さあ	誘いかけるときに使う
あはれなり	しみじみと心に感じられる	感動・悲しさなど、文脈による

その場で確認

01 「よもすがら物語す」を訳しなさい。

02 「年ごろ」の意味を書きなさい。

人物・主語・「ば」

人物を丸で囲む。「ば」の前後は主語を点検。形と文脈で訳を選ぶ。

01 「翁、笛吹く。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。

02 「竹取の翁、山に入る。この翁、竹を取る。」の２つの呼び方は、同じ人物ですか。

03 「狐、翁に『我は山に住む』と言ふ。」の「我」は誰ですか。

04 「童、笑ひて、走り出づ。」の２つの動作の主語を書きなさい。

05 「翁、童を呼べば、童、走り来。」の「呼ぶ」「来」の主語を順に書きなさい。

06 「雪降らば」の直前の形と意味を書きなさい。

07 寒さが理由です。「風冷たければ、戸を閉づ。」の「冷たければ」を訳しなさい。

08 「戸を開けば、猫あり。」の「開けば」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

「の・が」「む・ぬ」「で」

「ぬ」の直前を見る。「む・ん」は意志か推量かを確認する。

09 「鳥の鳴く声」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

10 「都の雪」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

11 「我が家」を現代語にし、「が」の働きを書きなさい。

12 出発を決めて言います。「いざ、行かん。」を訳しなさい。

13 天気を予想しています。「明日は雪降らむ。」を訳しなさい。

14 「咲かぬ花」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

15 「花咲きぬ。」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

16 「何も言はで帰る。」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

疑問・反語・打消し

場面の説明を読む。「いかで」と、後ろの語を一緒に考える。

17 訪問者の名前を尋ねます。「誰か来る。」は疑問・反語のどちらですか。訳も書きなさい。

18 助けてもらった恩を忘れないと誓います。「その恩をやは忘るる。」を反語が分かるように訳しなさい。

19 方法を知りたくて尋ねます。「いかが事をあきらめむ。」の「いかが」を訳しなさい。

20 会いたい気持ちです。「いかで友を見ばや。」を訳しなさい。

21 月を見ずにはいられない気持ちです。「いかで月を見ではあらん。」の意味を、「いや」を使って書きなさい。

22 「文字をえ読まず。」を訳しなさい。

23 「つゆ知らで帰る。」を訳しなさい。

24 「川深くて、え渡るまじ。」の「え渡るまじ」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

単語を確かめ、短文を読む

語彙を思い出したら、短文の中で主語と文法を確かめる。

25 意味を書きなさい。①よもすがら ②物語す ③年ごろ

26 意味を書きなさい。①をかし ②ありがたし ③あはれなり

読解用の創作短文

山里の翁、庭に出づれば、狐あり。この翁、「我が家は、人もおとなはず、さうざうし。いざ、入らん」と言へば、狐、「いとよし」と答へて、家に入りぬ。翁、狐の話を聞きて、「あやし」と思ふ。二人、月を見つつ、よもすがら物語す。

注：出づ＝出る／入らん＝ここでは「入ろう」／いとよし＝とてもよい／二人＝翁と狐

27 本文の登場人物を、動物も含めて２者書きなさい。

28 「この翁」は、初めに出た誰のことですか。

29 「我が家」の「我」は誰ですか。

30 「入りぬ」の主語と、「ぬ」の意味を書きなさい。

31 本文の「さうざうし」の意味を書きなさい。

32 最後の「よもすがら物語す」を、主語を補って訳しなさい。

チェックテスト１

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

氏名 _____ 実施日 ____月____日 得点 ____／100

01 「童、笛吹く。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。

02 「僧、立ちて、門を出づ。」で、門を出るのは誰ですか。

03 「翁、童を呼べば、童、答ふ。」で、答えるのは誰ですか。

04 「雨降らば」を訳しなさい。

05 「戸を開けば、犬あり。」の「開けば」を訳しなさい。

06 「雪の降る朝」の「の」の働きを答えなさい。

07 「我が友」を現代語にしなさい。

08 出発を決めて言う「我は行かん」を訳しなさい。

09 天気を予想する「明日は雨降らむ」を訳しなさい。

10 「散らぬ花」「花散りぬ。」の「ぬ」の意味を順に答えなさい。

チェックテスト１

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

11 名前を尋ねる「誰か来る」は、疑問・反語のどちらですか。

12 恩を忘れないと誓う「その恩をかは忘るる」を、反語が分かるように訳しなさい。

13 会いたい気持ちで言う「いかで友を見ばや」を訳しなさい。

14 「月を見で帰る」を訳しなさい。

15 「文字をえ読まず」を訳しなさい。

16 「つゆ疑はず」を訳しなさい。

17 「え渡るまじ」を訳しなさい。

18 意味を書きなさい。①よもすがら ②物語す

19・20は、次の創作短文を読んで答えなさい。

本文

翁、狐に会ふ。狐、「我は山へ行かん」と言へば、翁、家に入りぬ。

19 本文の会話中の「我」は誰ですか。

20 本文の「入りぬ」の主語と「ぬ」の意味を答えなさい。

復習するPOINT：_____ 答えを隠して解き直した日：____月____日

人物・主語・「ば」

人物を丸で囲む。「ば」の前後は主語を点検。形と文脈で訳を選ぶ。

01 「童、歌詠む。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。

02 「山寺の僧、門を出づ。この僧、川へ行く。」の２つの呼び方は、同じ人物ですか。

03 「猫、童に『我はここに住む』と言ふ。」の「我」は誰ですか。

04 「僧、山に行けば、竹を取る。」の「行く」「取る」の主語を順に書きなさい。

05 「童、母を呼べば、母、戸を開く。」の「呼ぶ」「開く」の主語を順に書きなさい。

06 「風やまば」の直前の形と意味を書きなさい。

07 雨が理由です。「雨降れば、外に出でず。」の「降れば」を訳しなさい。

08 「門を出づれば、友あり。」の「出づれば」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

「の・が」「む・ぬ」「で」

「ぬ」の直前を見る。「む・ん」は意志か推量かを確認する。

09 「雪の降る朝」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

10 「山の寺」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

11 「我が友」を現代語にし、「が」の働きを書きなさい。

12 帰ることを決めて言います。「我は帰らむ。」を訳しなさい。

13 天気を予想しています。「明日は雨降らん。」を訳しなさい。

14 「散らぬ花」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

15 「花散りぬ。」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

16 「友を待たで帰る。」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

疑問・反語・打消し

場面の説明を読む。「いかで」と、後ろの語を一緒に考える。

17 相手が帰る時刻を尋ねます。「いつか帰る。」は疑問・反語のどちらですか。訳も書きなさい。

18 命の恩人を忘れないと誓います。「その人をかは忘るる。」を反語が分かるように訳しなさい。

19 方法を知りたくて尋ねます。「いかに事をあきらめむ。」の「いかに」を訳しなさい。

20 会いたい気持ちです。「いかで母を見ばや。」を訳しなさい。

21 母を見ずにはいられない気持ちです。「いかで母を見ではあらん。」の意味を、「いや」を使って書きなさい。

22 「足痛くて、え歩かず。」の「え歩かず」を訳しなさい。

23 「つゆ疑はで聞く。」を訳しなさい。

24 「荷重くて、え運ぶまじ。」の「え運ぶまじ」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

単語を確かめ、短文を読む

語彙を思い出したら、短文の中で主語と文法を確かめる。

25 意味を書きなさい。①いと ②おとなふ ③あきらむ

26 意味を書きなさい。①あやし ②さうざうし ③いざ

読解用の創作短文

山寺の僧、門を開けば、猫あり。この僧、「いづこに住む」と問へば、猫、「我はここに住む」と答ふ。僧、その話を聞きて、笑ひぬ。猫、「年ごろ、この寺に住む」と言ふ。僧、「かかる猫に会ふこと、ありがたし」と思ふ。二人、よもすがら物語す。

注：いづこ＝どこ／かかる＝このような／二人＝僧と猫

27 本文の登場人物を、動物も含めて２者書きなさい。

28 「この僧」は、初めに出た誰のことですか。

29 「我はここに住む」の「我」は誰ですか。

30 「笑ひぬ」の主語と、「ぬ」の意味を書きなさい。

31 本文の「ありがたし」の意味を書きなさい。

32 最後の「よもすがら物語す」を、主語を補って訳しなさい。

チェックテスト 2

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

氏名 _____ 実施日 ____月____日 得点 ____／100

01 「僧、鐘打つ。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。

02 「童、笑ひて、家に入る。」で、家に入るのは誰ですか。

03 「童、僧に問へば、僧、答ふ。」で、答えるのは誰ですか。

04 「雪やまば」を訳しなさい。

05 「庭を見れば、猫あり。」の「見れば」を訳しなさい。

06 「鳥の鳴く声」の「の」の働きを答えなさい。

07 「我が家」を現代語にしなさい。

08 帰ることを決めて言う「我は帰らん」を訳しなさい。

09 天気を予想する「明日は風やまむ」を訳しなさい。

10 「咲かぬ花」「花咲きぬ。」の「ぬ」の意味を順に答えなさい。

チェックテスト 2

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

11 時刻を尋ねる「いつか帰る」は、疑問・反語のどちらですか。

12 恩人を忘れないと誓う「その人をやは忘るる」を、反語が分かるように訳しなさい。

13 会いたい気持ちで言う「いかで母を見ばや」を訳しなさい。

14 「何も言はで帰る」を訳しなさい。

15 「足痛くて、え歩かず」の「え歩かず」を訳しなさい。

16 「つゆ知らず」を訳しなさい。

17 「え運ぶまじ」を訳しなさい。

18 意味を書きなさい。①年ごろ ②さうざうし

19・20は、次の創作短文を読んで答えなさい。

本文

僧、猫に問ふ。猫、「我は寺に住む」と答ふれば、僧、笑ひぬ。

19 本文の会話中の「我」は誰ですか。

20 本文の「笑ひぬ」の主語と「ぬ」の意味を答えなさい。

復習するPOINT：_____ 答えを隠して解き直した日：____月____日

人物・主語・「ば」

人物を丸で囲む。「ば」の前後は主語を点検。形と文脈で訳を選ぶ。

01 「僧、文読む。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。（文＝手紙）

02 「里の童、庭に出づ。この童、花を見る。」の２つの呼び方は、同じ人物ですか。

03 「鳥、僧に『我は山へ行く』と言ふ。」の「我」は誰ですか。

04 「翁、笑ひて、童、走り出づ。」の「笑ふ」「走り出づ」の主語を順に書きなさい。

05 「僧、童に問へば、童、答ふ。」の「問ふ」「答ふ」の主語を順に書きなさい。

06 「花咲かば」の直前の形と意味を書きなさい。

07 川の深さが理由です。「川深ければ、渡らず。」の「深ければ」を訳しなさい。

08 「庭を見れば、鳥あり。」の「見れば」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

「の・が」「む・ぬ」「で」

「ぬ」の直前を見る。「む・ん」は意志か推量かを確認する。

09 「花の咲く庭」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

10 「月の光」の「の」の働きと現代語での意味を書きなさい。

11 「我が母」を現代語にし、「が」の働きを書きなさい。

12 歌うことを決めて言います。「いざ、歌はん。」を訳しなさい。

13 天気を予想しています。「明日は風やまむ。」を訳しなさい。

14 「帰らぬ人」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

15 「友帰りぬ。」の「ぬ」の意味と、全体の訳を書きなさい。

16 「返事を聞かで出づ。」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

疑問・反語・打消し

場面の説明を読む。「いかで」と、後ろの語を一緒に考える。

17 これから手紙を書く人を尋ねます。「誰かこの文を書く。」は疑問・反語のどちらですか。訳も書きなさい。

18 困っている友を必ず助けると誓います。「友をやは見捨つる。」を反語が分かるように訳しなさい。

19 方法を知りたくて尋ねます。「いかが橋を造らむ。」の「いかが」を訳しなさい。

20 見たい気持ちです。「いかで都の花を見ばや。」を訳しなさい。

21 その花を見ずにはいられない気持ちです。「いかで花を見ではあらん。」の意味を、「いや」を使って書きなさい。

22 「声小さくて、え聞かず。」の「え聞かず」を訳しなさい。

23 「つゆ思はで言ふ。」を訳しなさい。

24 「雨強くて、え帰るまじ。」の「え帰るまじ」を訳しなさい。

解き直し：答えを隠して、もう一度説明できたら □ にチェック。 □

単語を確かめ、短文を読む

語彙を思い出したら、短文の中で主語と文法を確かめる。

25 意味を書きなさい。①よもすがら ②物語す ③年ごろ

26 意味を書きなさい。①をかし ②ありがたし ③あはれなり

読解用の創作短文

里の童、庭を見れば、鳥あり。この童、「我が家に入らん」と言へば、鳥、「いとよし」と答へて、家に入りぬ。童、鳥の話を聞きて、「をかし」と思ふ。鳥、「年ごろ、遠き山に住む」と言ふ。二人、よもすがら物語す。

注：入らん＝ここでは「入ろう」／いとよし＝とてもよい／遠き＝遠い／二人＝童と鳥

27 本文の登場人物を、動物も含めて２者書きなさい。

28 「この童」は、初めに出た誰のことですか。

29 「我が家」の「我」は誰ですか。

30 「入りぬ」の主語と、「ぬ」の意味を書きなさい。

31 本文の「をかし」の意味を書きなさい。

32 最後の「よもすがら物語す」を、主語を補って訳しなさい。

チェックテスト 3

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

氏名 _____ 実施日 ____月____日 得点 ____／100

01 「翁、歌詠む。」に「が・を」を補い、現代語にしなさい。

02 「僧、歌ひつつ、道を行く。」で、道を行くのは誰ですか。

03 「僧、童を呼べば、童、走り来。」で、走って来るのは誰ですか。

04 「風やまば」を訳しなさい。

05 「門を出づれば、友あり。」の「出づれば」を訳しなさい。

06 「花の咲く庭」の「の」の働きを答えなさい。

07 「我が母」を現代語にしなさい。

08 歌うことを決めて言う「いざ、歌はん」を訳しなさい。

09 天気を予想する「明日は雪降らん」を訳しなさい。

10 「帰らぬ人」「友帰りぬ。」の「ぬ」の意味を順に答えなさい。

チェックテスト 3

解説・解答を閉じて解こう。20問・各５点・100点満点／目安20分（２ページ合計）

11 方法を尋ねる「いかが橋を造らむ」は、疑問・反語のどちらですか。

12 友を助けると誓う「友をかは見捨つる」を、反語が分かるように訳しなさい。

13 見たい気持ちで言う「いかで都の花を見ばや」を訳しなさい。

14 「返事を聞かで出づ」を訳しなさい。

15 「声小さくて、え聞かず」の「え聞かず」を訳しなさい。

16 「つゆ思はず」を訳しなさい。

17 「え帰るまじ」を訳しなさい。

18 意味を書きなさい。①ありがたし ②おとなふ

19・20は、次の創作短文を読んで答えなさい。

本文

童、鳥を見る。鳥、「我は山へ帰らん」と言へば、童、家へ走りぬ。

19 本文の会話中の「我」は誰ですか。

20 本文の「走りぬ」の主語と「ぬ」の意味を答えなさい。

復習するPOINT：_____ 答えを隠して解き直した日：____月____日

意味と根拠を、両方確かめる

採点の共通ルール

言い換えや、文脈に合う自然な時制の違いは正解とします。
テストは各問５点。複数の解答要素がある問題は、各回の配点を参照してください。練習と解説内の確認問題には点数をつけません。

単独の選択・人物名・文法用語は、正答５点、誤答０点。訳の問題は、文法と語句の意味が伝わる自然な訳なら満点。「え〜ず」を単なる「〜ない」にするなど、中心の意味を欠く答案は原則０点です。
文法の中心が正しく、ほかの語に小さな訳し落としがある場合は３点を目安にします。個別の配点指定がある問は、その指定を優先します。

POINT 01〜08「その場で確認」

POINT 01 ① 童が、笛を吹く。 ② 僧。

POINT 02 ① 僧／童。 ② 狐。

POINT 03 ① もし雨が降るならば。 ② 開けると／開けたところ。

POINT 04 ① 連体修飾。 ② が。

POINT 05 ① 私は帰ろう。 ② 打消し／完了。

POINT 06 ① 必ずではない。 ② どうにかして友に会いたい。

POINT 07 ① 全く知らないで。 ② 渡ることができそうにない。

POINT 08 ① 一晩中、話をする。 ② 長年／数年来。

採点のあとにすること

① 誤答の原因に印：主語／単語／形／文脈。
② 対応するPOINTに戻る。
③ 答えを隠して、同じ問題を自力で解く。
④ 「なぜその答えか」を一言で説明する。

人物・主語・文法の確認

生徒用の練習01〜16に対応

01 翁が、笛を吹く。 ／ 誰が＝翁、何を＝笛。

02 同じ人物。 ／ 略称になっても新しい人物とは限らない。

03 狐。 ／ 会話の話し手。

04 笑ふ＝童／走り出づ＝童。 ／ て、の前後で同じ人物の動作が続く。

05 翁／童。 ／ 来（く）＝来る。

06 未然形／もし雪が降るならば。 ／ 降ら＋ば。

07 冷たいので。 ／ 已然形＋ば。原因・理由。

08 開けると／開けたところ。 ／ 已然形＋ば。続いて気づいたことを表す。

09 主格／が。 ／ 鳴くのは鳥。

10 連体修飾／の。 ／ 名詞「雪」を説明する。

11 私の家／連体修飾。 ／ 我＝私、が＝の。

12 さあ、行こう。 ／ ん＝む。意志。

13 明日は雪が降るだろう。 ／ む＝推量。

14 打消し／咲かない花。 ／ 咲か＝未然形。

15 完了／花が咲いた。 ／ 咲き＝連用形。

16 何も言わないで帰る。 ／ で＝打消接続。

表現・単語・短文の確認

生徒用の練習17〜32に対応

17 疑問／誰が来るのか。 ／ 本当に名前を尋ねている。

18 その恩を忘れようか、いや忘れない。 ／ やは＝反語。忘るる＝忘れる。

19 どのように／どうやって。 ／ 疑問。全体は「どうやって事情を明らかにしようか」。

20 どうにかして友に会いたい。 ／ いかで＝どうにかして、ばや＝〜したい。

21 どうして月を見ないでいられようか、いやいられない。 ／ 見で＝見ないで。反語で月を見る気持ちを強める。

22 文字を読むことができない。 ／ え〜ず＝不可能。

23 全く知らないで帰る。 ／ つゆ〜で＝全く〜ないで。

24 渡ることができそうにない。 ／ え〜まじ＝不可能。

25 ①一晩中 ②話をする ③長年・数年来。 ／ ３語とも文中で確かめる。

26 ①趣がある・おもしろい ②めったにない・珍しい ③しみじみと心に感じられる。 ／ この教材の基本の意味。

27 山里の翁（翁）／狐。

28 山里の翁。

29 翁。

30 狐／完了。

31 物寂しい。

32 翁と狐が、一晩中、話をする。

創作短文の現代語訳

山里の翁が庭に出ると、狐がいる。この翁が「私の家には人も訪れず、物寂しい。さあ、入ろう」と言うと、狐は「とてもよい」と答えて、家に入った。翁は狐の話を聞いて、「不思議だ」と思う。翁と狐は月を見ながら、一晩中、話をする。

チェックテストの解答・採点基準

20問・各５点・100点満点。別解は意味が同じなら可。

---

01 童が、笛を吹く。 ／「が」２点・「を」３点。

02 僧。 ／主語が続く。

03 童。 ／ば、の後で主語を確認。

04 もし雨が降るならば。 ／未然形＋ば。

05 開けると／開けたところ。 ／已然形＋ば。

06 主格。 ／雪が降る。

07 私の友。 ／が＝の。

08 私は行こう。 ／ん＝意志。

09 明日は雨が降るだろう。 ／む＝推量。

10 打消し／完了。 ／前半２点・後半３点。

11 疑問。 ／答えを求めている。

12 その恩を忘れようか、いや忘れない。 ／問いの形２点・否定の結論３点。

13 どうにかして友に会いたい。 ／どうにかして２点・会いたい３点。

14 月を見ないで帰る。 ／で＝ないで。

15 文字を読むことができない。 ／不可能の意味が必要。

16 全く疑わない。 ／全く２点・疑わない３点。

17 渡ることができそうにない。 ／不可能３点・見込みの否定２点。

18 ①一晩中 ②話をする。 ／①２点・②３点。

19 狐。 ／狐が話している。

20 翁／完了。 ／主語２点・完了３点。

復習先：01〜03・19〜20 → POINT 01・02／04〜05 → 03／06〜07 → 04
08〜10 → 05／11〜13 → 06／14〜17 → 07／18 → 08

人物・主語・文法の確認

生徒用の練習01〜16に対応

01 童が、歌を詠む。 ／ 誰が＝童、何を＝歌。

02 同じ人物。 ／ 山寺の僧＝この僧。

03 猫。 ／ 話す動物も人物として読む。

04 僧／僧。 ／ ば、の前後でも同じ主語の場合がある。

05 童／母。 ／ ば、の後で母に交代。

06 未然形／もし風がやむならば。 ／ やま＋ば。

07 降るので。 ／ 已然形＋ば。

08 出ると／出たところ。 ／ 出づれ＝已然形。

09 主格／が。 ／ 降るのは雪。

10 連体修飾／の。 ／ 名詞「寺」を説明する。

11 私の友／連体修飾。 ／ が＝の。

12 私は帰ろう。 ／ む＝意志。

13 明日は雨が降るだろう。 ／ ん＝む。推量。

14 打消し／散らない花。 ／ 散ら＝未然形。

15 完了／花が散った。 ／ 散り＝連用形。

16 友を待たないで帰る。 ／ 待た＝未然形。で＝ないで。

表現・単語・短文の確認

生徒用の練習17〜32に対応

17 疑問／いつ帰るのか。 ／ 本当に時刻を知りたい。

18 その人を忘れようか、いや忘れない。 ／ かは＝反語。

19 どのように／どうやって。 ／ 疑問。あきらむ＝明らかにする。

20 どうにかして母に会いたい。 ／ いかで＝どうにかして。

21 どうして母を見ないでいられようか、いやいられない。 ／ 打消しを含む反語。

22 歩くことができない。 ／ ただ「歩かない」では不十分。

23 全く疑わないで聞く。 ／ つゆ〜で。

24 運ぶことができそうにない。 ／ まじを打消推量だけに限定しない。

25 ①とても ②訪れる ③明らかにする。 ／ 今回は表の意味で答える。

26 ①不思議だ・変だ ②物寂しい ③さあ。 ／ 現代語の響きだけで判断しない。

27 山寺の僧（僧）／猫。

28 山寺の僧。

29 猫。

30 僧／完了。

31 めったにない／珍しい。

32 僧と猫が、一晩中、話をする。

創作短文の現代語訳

山寺の僧が門を開けると、猫がいる。この僧が「どこに住んでいるのか」と尋ねると、猫は「私はここに住んでいる」と答える。僧はその話を聞いて、笑った。猫は「長年、この寺に住んでいる」と言う。僧は「このような猫に会うことは珍しい」と思う。僧と猫は一晩中、話をする。

チェックテストの解答・採点基準

20問・各５点・100点満点。別解は意味が同じなら可。

01 僧が、鐘を打つ。 ／「が」２点・「を」３点。

02 童。 ／同じ人物の動作。

03 僧。 ／質問と返答。

04 もし雪がやむならば。 ／やま＝未然形。

05 見ると／見たところ。 ／見れ＝已然形。

06 主格。 ／鳥が鳴く。

07 私の家。 ／が＝の。

08 私は帰ろう。 ／意志。

09 明日は風がやむだろう。 ／推量。

10 打消し／完了。 ／前半２点・後半３点。

11 疑問。 ／帰る時刻を知りたい。

12 その人を忘れようか、いや忘れない。 ／問いの形２点・否定の結論３点。

13 どうにかして母に会いたい。 ／どうにかして２点・会いたい３点。

14 何も言わないで帰る。 ／で＝ないで。

15 歩くことができない。 ／不可能の意味が必要。

16 全く知らない。 ／全く２点・知らない３点。

17 運ぶことができそうにない。 ／不可能３点・見込みの否定２点。

18 ①長年・数年来 ②物寂しい。 ／①２点・②３点。

19 猫。 ／猫の発言。

20 僧／完了。 ／主語２点・完了３点。

復習先：01〜03・19〜20 → POINT 01・02／04〜05 → 03／06〜07 → 04
08〜10 → 05／11〜13 → 06／14〜17 → 07／18 → 08

人物・主語・文法の確認

生徒用の練習01〜16に対応

01 僧が、手紙を読む。 ／ 誰が＝僧、何を＝手紙。

02 同じ人物。 ／ 里の童＝この童。

03 鳥。 ／ 会話の中の一人称は話し手。

04 翁／童。 ／ て、の前後でも主語が交代する場合がある。

05 僧／童。 ／ 質問する人と答える人。

06 未然形／もし花が咲くならば。 ／ 咲か＋ば。

07 深いので。 ／ 已然形＋ば。原因・理由。

08 見ると／見たところ。 ／ 已然形＋ば。

09 主格／が。 ／ 咲くのは花。

10 連体修飾／の。 ／ 名詞「光」を説明する。

11 私の母／連体修飾。 ／ 主語を示す「が」ではない。

12 さあ、歌おう。 ／ ん＝む。意志。

13 明日は風がやむだろう。 ／ む＝推量。

14 打消し／帰らない人。 ／ 帰ら＝未然形。

15 完了／友が帰った。 ／ 帰り＝連用形。

16 返事を聞かないで出る。 ／ で＝ないで。

表現・単語・短文の確認

生徒用の練習17〜32に対応

17 疑問／誰がこの手紙を書くのか。 ／ 文＝手紙。実際の担当者を尋ねている。

18 友を見捨てようか、いや見捨てない。 ／ やは＝反語。

19 どのように／どうやって。 ／ 疑問。

20 どうにかして都の花を見たい。 ／ いかで＝どうにかして。

21 どうして花を見ないでいられようか、いやいられない。 ／ 見ないでいることを否定。

22 聞くことができない。 ／ え〜ず。

23 全く考えないで言う。 ／ 思ふ＝ここでは考える。

24 帰ることができそうにない。 ／ え〜まじ。

25 ①一晩中 ②話をする ③長年・数年来。 ／ １回目と同じ語で定着を確認。

26 ①趣がある・おもしろい ②めったにない・珍しい ③しみじみと心に感じられる。 ／ 同じ語でも確実に思い出せるかを確認。

27 里の童（童）／鳥。

28 里の童。

29 童。

30 鳥／完了。

31 おもしろい／趣がある。

32 童と鳥が、一晩中、話をする。

創作短文の現代語訳

里の童が庭を見ると、鳥がいる。この童が「私の家に入ろう」と言うと、鳥は「とてもよい」と答えて、家に入った。童は鳥の話を聞いて、「おもしろい」と思う。鳥は「長年、遠い山に住んでいる」と言う。童と鳥は一晩中、話をする。

チェックテストの解答・採点基準

20問・各５点・100点満点。別解は意味が同じなら可。

01 翁が、歌を詠む。 ／「が」２点・「を」３点。

02 僧。 ／歌うのも僧。

03 童。 ／ば、の前後で主語交代。

04 もし風がやむならば。 ／未然形＋ば。

05 出ると／出たところ。 ／出づれ＝已然形。

06 主格。 ／花が咲く。

07 私の母。 ／が＝の。

08 さあ、歌おう。 ／意志。

09 明日は雪が降るだろう。 ／ん＝む。推量。

10 打消し／完了。 ／前半２点・後半３点。

11 疑問。 ／方法を知りたい。

12 友を見捨てようか、いや見捨てない。 ／問いの形２点・否定の結論３点。

13 どうにかして都の花を見たい。 ／どうにかして２点・見たい３点。

14 返事を聞かないで出る。 ／で＝ないで。

15 聞くことができない。 ／不可能の意味が必要。

16 全く考えない。 ／全く２点・考えない３点。

17 帰ることができそうにない。 ／不可能３点・見込みの否定２点。

18 ①めったにない・珍しい ②訪れる。 ／①２点・②３点。この教材の意味。

19 鳥。 ／鳥の発言。

20 童／完了。 ／主語２点・完了３点。

復習先：01〜03・19〜20 → POINT 01・02／04〜05 → 03／06〜07 → 04
08〜10 → 05／11〜13 → 06／14〜17 → 07／18 → 08

覚えやすさと、正確さを両立する

1 主語の省略を、作品の読者層だけで説明しない

古文にもさまざまなジャンルがあります。「現代文＝不特定多数向け、古文＝特定の人向け」という二分法は避け、言語の省略と、文化・常識の違いを入口にしました。

2 主語交代は、助詞だけで確定しない

「て・つつ」では同じ主語をまず考え、「ば」の後では交代を点検する、という読解の手順にしました。読点は編集上の区切りでもあるため、主語判定の決め手にはしません。

3 「ば」は3択の当てはめで終わらせない

「未然形＋ば」と「已然形＋ば」を区別した上で、仮定・原因理由・時のつながりを確認します。今回のテストでは基本の仮定と「〜すると」を固定して、同じ難度で比較できるようにしました。

4 文末の「ぬ」でも、打消しはある

「人ぞ知らぬ」のような係り結びや、連体形で終わる表現では、文末に打消しの「ぬ」が現れます。初学者向け問題は形の違いが明確な四段動詞を中心にし、解説では例外も示しました。

5 疑問と反語は、判断できる文脈をつける

「誰か来る」「いかで川を渡らむ」のような短い文だけでは、どちらにも解釈できることがあります。問題文に場面を添え、形式だけで唯一の正解を押しつけない設計にしました。

6 「で」の語源と、「まじ」の意味

「で」の成立については複数の説明があるため、「ずてが変化した」と一律には断定していません。「まじ」を打消推量だけに限定せず、今回は「え〜まじ」による不可能を指導します。

３回反復の対応と、確認資料

各回の練習	共通する学習項目
01〜08	省略・呼び方・会話の主語・主語交代・ば
09〜16	の／が・む／ん・２つのぬ・打消しので
17〜24	疑問／反語・いかに／いかが／いかで・え／つゆ
25〜32	重要単語・人物の呼び方・会話・短文読解

各回の学習目標・設問形式・テスト配点をそろえています。STEPの数字は難度の段階ではなく、反復の回数です。解説例と同じ型を何度も扱い、文法を読解に使えるようにします。

文法確認に用いた公開資料

小学館『デジタル大辞泉』『精選版 日本国語大辞典』「やは」
https://kotobank.jp/word/やは-648894

同「かは」
https://kotobank.jp/word/かは-465546

同「如何で」
https://kotobank.jp/word/如何で-430958

同「で」「ずて」
https://kotobank.jp/word/で-573220 ／ https://kotobank.jp/word/ずて-542301

Try IT「ば」の用法／「の・が」の用法
https://www.try-it.jp/chapters-14470/lessons-14724/
https://www.try-it.jp/chapters-14470/lessons-14745/

Try IT「で」の意味／「まじ」の意味（練習編２）
https://www.try-it.jp/chapters-14470/lessons-14739/
https://www.try-it.jp/chapters-14469/lessons-14680/practice-4/

三省堂「古文を読むために④ 助動詞」公開資料
https://tb.sanseido-publ.co.jp/wp-sanseido/wp-content/themes/sanseido/images/h-school/hs-kokugo/29-hseisenkokugosogo/29Kokuso_seisen_commentary_D3.pdf

確認日：2026年10月9日。説明は初学者向けに再構成しています。
「いかで月を見ではあらん」は『竹取物語』由来の表現。
その他の練習用例文・読解短文は教材用の創作です。